

# 1 千葉県漁業の概要

千葉県は三方を海に囲まれ、東京湾の内湾から太平洋の外洋に砂浜域や岩礁域など多彩な漁場を有し、沖合は黒潮と親潮が交わる日本有数の好漁場となっています。

東京湾地域(浦安市～富津市)では、砂泥質の漁場にアサリやホンビノスガイなどの貝類、スズキ、コノシロ、カレイ類、エビ類、ナマコなど様々な生物が生息しています。そして、それらを狙った小型底びき網漁業、刺網漁業、貝まき漁業、潜水器漁業、まき網漁業などの他、各河川からの栄養豊富な水で育つ養殖業が営まれています。

内房地域(富津市～館山市)には、岩礁域が広がっており、海士などの磯根漁業、刺網漁業の他、一本釣り漁業、まき網漁業、定置網漁業などの漁業が営まれています。また、魚類の養殖業も営まれています。

外房地域(南房総市～いすみ市)は、器械根などの豊かな藻場が広がる岩礁域を有し、海士などの磯根漁業、刺網漁業の他、定置網漁業などが営まれています。また、沖合では黒潮の影響を強く受けて、カツオやマグロ、カジキなどを狙ったはえなわ漁業や深場のキンメダイやサバを狙った一本釣り漁業が盛んです。

銚子・九十九里地域(一宮町～銚子市)には、広大な砂浜域が広がっており、チョウセンハマグリやダンベイキサゴを漁獲する貝桁網漁業や、沖合ではタイ、ヒラメなどを狙った刺網や小型底びき網漁業の他、ヤリイカやメヒカリを狙う沖合底びき網漁業も営まれています。また、キンメダイやムツなどの底魚を漁獲する一本釣り漁業も営まれています。さらに親潮域から黒潮域を広く回遊するイワシやサバを狙うまき網漁業や、サンマを狙うさんま棒受網漁業も営まれています。

これらの多種多様な漁業が、地域経済を支えています。また、県外船も含め、多くの漁船が水揚げする銚子や勝浦漁港など全国トップレベルの漁業基地を擁し、豊富な水産物を活用し、全国有数の水産加工業や水産流通業が発展しています。さらに、各地で生産される特色ある鮮魚の他、アワビやイセエビなど魅力的な水産特産品は、観光業の発展にも大きく寄与しています。